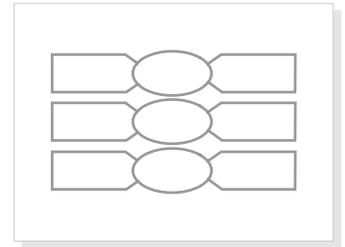


キャンディチャート

目的のために使うスキルと思考ツール

- ・情報を収集・整理するために推論する
- ・「キャンディチャート」を使うと…



使い方

状況によって結果が変化するとき、それぞれの仮定に対する推論をして、その理由として集めた情報を関係付けて整理することで、自分の主張や意見が作り出しやすくなります。

仮定から推論したことに理由付けして情報を整理するために、キャンディチャートを使うときは、次のようにしましょう。

1. あめ玉の左の枠には「もし～なら」というような仮定を書きます。
2. 中央のあめ玉の枠には、上記の仮定をしたときに起こることを推論として書きます。
3. あめ玉の右の枠には、集めた様々な情報をもとに、中央の枠のように推論した理由を書きます。
4. 整理した仮定と推論、その理由を分析して、似たようなことをまとめていくことで、自分の主張や意見が作り出しやすくなります。

使用例 【私たちの生活との関係から税金の働きについて考えるとき】

1. あめ玉の左の枠には全て「もし税金がなかったら」という仮定を設定します。
2. 中央のあめ玉の枠には「税金がないことで世の中がどうなるか」という推論を具体的に書きます。
3. あめ玉の右の枠には、動画で得た情報などから、中央の枠のように思った理由を見つけ、書きます。
4. 税金がないとおこなわれないことの中で、似たようなことを集めて整理し、税金がないと私たちの生活で何が困るのかを関係付けて分析することで、自分の主張や意見が作り出せます。